一般質問（要旨）

おさかないるかな
（昭和公園）

一人ひとりに届く防災・減災対策について

みらいネットワーク　林　まい子　議員

質問　防災・減災対策について、①各学校避難所運営マニュアルを、新型コロナウイルス感染症対策を含め、早急に改訂すべき。②地域特性ごとのマイ・タイムラインの作成を促すための動画を配信しては。

答弁　①今後の感染状況により学校避難所運営委員会の活動を再開し、マニュアルの改訂後、市民への周知を進めていく。②動画配信なども進めつつ、市独自の取り組みも検討していきたい。

質問　資源の浪費、有害物質や非再生可能資源の利用をやめ、環境負荷を減らすゼロ・ウェイストを目指すため、①布おむつと布ナプキンについて、ライフサイクルにおける一つの選択肢として、周知・啓発する考えは。②市が進めているプラスチック-1運動について、市民への周知方法は。

答弁　①布おむつについては、フレッシュママパパ学級等で活用方法を知らせている。布ナプキンについては、児童・生徒への周知・啓発に向け、情報誌の配布等の調整を行っていきたい。②マイボトル用給水スポットの供用開始等を契機としながら、積極的に広報活動を展開していく。

質問　新型コロナウイルス感染症の自宅療養者について、①自宅で適切な医療を受けられるよう、医療機関と連携して、電話やオンライン、訪問による診療を実施する考えは。②市民にとって必要な情報を精査し、様々な媒体により提供する考えは。

答弁　①市内医療機関で更なる体制確保ができるかなど、現状を見極める中でどのような対応が可能か検討していく。②引き続き、あらゆる媒体を活用し、情報提供に努めていく。

通学路の安全対策について

自由民主党昭島市議団　馬場　保　議員

質問　通学路の安全対策について、①千葉県八街市で発生した交通事故を受けて、国は通学路の合同点検を指示したが、市の対応は。②拝島町四丁目地内の市道27号沿いには、中学校、高校があり、通学時間帯には、中高生のほか、小学生も通行しているが、周辺事業所へ出入りするトラックも多く危険な環境である。原則当該地を通行しない旨の同意協議書を取り交わした会社に指導しては。③通行の安全確保のための白線が消えている箇所が多く見られ、整備すべき。④国道16号の堂方上交差点から小荷田交差点間の3か所の歩道橋は、塗装の劣化が進み、階段の蹴込み板には穴が開いている箇所が数か所あり、早急に関係機関へ改修を要望すべき。

答弁　①全小学校が作成した合同点検箇所のリストに基づき、学校、保護者、昭島警察署などと通学路の合同点検を行っている。今後、関係者と対策案を作成し、計画的な対策の実施に努めていく。②スクールゾーンのため、違反車両の取り締まり強化を昭島警察署へ要望する。また同意協議書事項の遵守を改めて依頼する。③優先順位をつけながら、計画的に整備を実施していく。④改めて国土交通省相武国道事務所に現況写真等の資料を提出し、早期の改善を要望していく。

質問　多摩川の水防対策は重要である。一昨年の台風のときに出水した昭和用水堰上流付近の堤防の改善要請に対する京浜河川事務所の見解は。

答弁　より危険性が高い地域などから順次整備していると回答があった。引き続き、要請するとともに、堤防等の状況を注視していく。

障害者・障害児が安心して暮らせるまちづくりについて

自由民主党昭島市議団　髙橋　誠　議員

質問　新型コロナウイルスが障害者の生活に与えた影響は計り知れない。障害者・障害児が安心して暮らせるための支援が必要不可欠と考える。感染症対策が長期化する中、障害者就労支援施設について、①事業所からの支援要望とその対応状況は。②工賃等補助を再度実施する考えは。

答弁　①感染防止対策や、生産活動拡大に向けた共同受注ネットワーク体制への支援が求められている。市として施設からの物品等優先調達の実施、施設利用者へのPCR検査や衛生用品支給等の継続した支援を実施している。②国の動向に注視し、どのような支援のニーズが高く、効果的な取り組みとなるのか、検討していく。

質問　小中学校に導入された特別支援教室における運営上の課題は。

答弁　利用者の増による学習スペースの確保、生徒の実態把握や指導技術の向上が課題である。

質問　新型コロナウイルス感染症対策が長期化する中での通級指導学級や特別支援教室における対応は。

答弁　個別指導でのアクリル板の活用や手指消毒、換気の徹底など感染症の拡大防止策に万全を期している。

質問　インクルーシブ公園は、障害がある子どもとない子どもが交流する場所として、役割が大きい。今後の公園整備について、インクルーシブの要素を取り入れる考えは。

答弁　インクルーシブの考え方を取り入れていくことは必要な視点であると認識しているが、駐車場の確保や幅員の広い通路の設置等の課題がある。他市の状況等を注視し、検討していく。

新型コロナウイルス感染症・気候変動・気候危機について

みらいネットワーク　青山　秀雄　議員

質問　新型コロナウイルス感染症について、国民の命を守り、安心できる医療の確立が必要と考える。①PCR検査は感染予防対策として大変重要である。医師会と連携した市のPCR検査を休止するとのことだが、検査希望者に補助金を出す取り組みを行っては。②自宅療養者に対する医療ケアの状況は。また、酸素濃縮装置を設置する考えは。

答弁　①小中学校等へ抗原簡易キットを配付するなど、国や都で進めている様々な検査への取り組みを連携して着実に推進していきたい。②医療ケアは医療機関で電話相談など個々に対応していると聞いている。酸素濃縮装置は、医師の見識などを踏まえた対応が必要なため、医師会と情報共有を図り、状況等を注視していく。

質問　気候危機問題について、①脱炭素の取り組みは喫緊の課題である。市として気候非常事態宣言あるいはゼロカーボン宣言をすべき。②気候変動の現状や原因などについて、特集号を発行し、市民に分かりやすく周知する考えは。

答弁　①地球温暖化対策や気候変動適応策の緊急性を周知する大変有効な手段と考える。時期や関連施策等について、引き続き検討していく。②リサイクル通信にCO2削減に向けたPRを載せるなど、周知を行っていきたい。

質問　市民の安全・安心について、①通学路の危険箇所における改善策は。②路側帯の白線や路面標示が消えている部分がある。補修をすべきでは。

答弁　①対策の必要がある箇所は、警察とも協議し、効果的な対応を検討していく。②優先順位をつけながら計画的に実施していく。

会議の開催状況

定例会前

8月17日　総務委員協議会
18日　厚生文教委員協議会
19日　建設環境委員協議会
20日　基地対策特別委員会
24日　議会運営委員会

第3回定例会

8月31日～9月3日　本会議
9月7日　補正予算審査特別委員会
8日　総務委員協議会
9日　厚生文教委員会・厚生文教委員協議会
13日　交通機関改善対策特別委員会
基地対策特別委員会
16日　議会運営委員会・本会議
21日・22日・24日　決算審査特別委員会
30日　議会運営委員会・本会議

定例会後

10月12日　議会運営委員会

請願・陳情の提出方法

請願等の書式（例）

○○○○に関する請願
（紹介議員がないものは陳情）

請願（陳情）の要旨

紹介議員
○○○○印

年　月　日
（あて先）昭島市議会議長
請願（陳情）者
住所　○○○○
氏名　○○○○印
電話　○○○○

市民のみなさんが、日頃考えている意見や要望を誰でも市議会に提出することができます。

議員の紹介のあるものが請願、ないものが陳情です。

議会に提出された請願等（陳情で内容が請願に適合するものを含む）は、担当委員会で審査されます。

なお、請願・陳情者の署名があれば押印は不要です。